

行政のデジタル化について

この高松市においても、特別定額給付金の事務処理について、当初の予定より大幅に遅れる事態を招いてしまい、申し訳なく大変残念であると感じたところです。

さて先日、同会派一期・二期の議員にて、スマートシティの先進事例である会津若松市を視察してまいりました。

同市はこれまで、ICT専門大学である公立大学法人会津大学の立地などの地域特性を生かして、データを分析、利活用出来る人材の育成や実証フィールドの整備に取り組んできました。

上記を踏まえ、首都圏などのICT関連企業が機能移転できる受け皿（働きやすい魅力的なオフィス環境）を整備し、ICT関連企業の集積により、首都圏からの新たな人の流れと雇用の場の創出、若年層の地元定着を図っているものです。

またセンサー等で取得した情報で移動時間が見えるようにしたり、交通の最適化など市民にとってICTを使って生活の利便性を高められるよう、まちづくりに役立てています。

さらに知りたいことに応じてスマートフォンに情報が届く、情報提供サービスも展開し、子育てや学力向上分野の連携にも取り組んでいます。

高松市のスマートシティ構想を一層推し進めるため、内閣府が来年度より取り組む「スーパーシティ」全国5ヶ所に指定されるよう推進してまいります。



◆高松市マイシティレポート運用開始

マイシティレポート（市民投稿システム）が10月1日から運用が開始されました。

高松市マイシティレポートとは、高松市内で起きている様々な課題、例えば、「道路に穴が開いている」「公園の遊具が壊れている」など、地域で困った課題をスマートフォンアプリを使い市民がレポートすることで、市民と行政の間でそれらの課題を共有し、合理的かつ効率的に解決していく仕組みです。

市民主体で住みやすいまちを実現するため、市民と行政の協働の取り組みのきっかけとして、是非、高松市マイシティレポートをご活用ください。

ダウンロード
こちらから



マイシティレポート▶
イメージ画面



●役職（2020年度）

- ・香川県ヨット連盟 理事長
- ・香川県スポーツ協会 理事
- ・香川県スポーツ指導者協議会 理事
- ・高松市スポーツ協会競技スポーツ専門部 理事
- ・公益財団法人かがわ産業支援財団 登録専門家
- ・かがわ中小企業応援ファンド登録コーディネーター
- ・中小企業庁 ミラサポ 登録専門家
- ・四国地域イノベーション創出協議会
イノベーションコーディネーター
- ・高松北交通安全協会 代議員

●資格

- ・中小企業診断士（経済産業大臣認定）
- ・公認スポーツ指導者／コーチⅢ（日本スポーツ協会）
- ・TASS（高松市アドバイザースポーツシステム）
公認指導者

ご意見をお聞かせください
皆様の声を議会にお届けします

斉藤おさむ事務所

- 福岡町事務所 高松市福岡町2-27-16
電話 087-813-2022 FAX 087-883-0120
- 牟礼町事務所 高松市牟礼町牟礼1632-54
電話 087-845-1280
- ✉ kouenkai@osamu-saito.com

- 斉藤おさむオフィシャルサイト
<https://osamu-saito.com/>



勝手ながらお届けさせて頂きました。

2020年11月発行

発行所：斉藤おさむ



高松市議会議員

斉藤おさむ

市政活動レポート

私たちが決める！
このまちのかたち！



高松市議会 本会議

◆令和2年第2回臨時議会が5月14・15日に開かれ、新しい正副議長、各委員会など議会の新しい構成が決まりました。

また子育て世帯やひとり親家庭等への臨時給付金、テナント家賃給付金等の経済活動支援、定額給付金の給付や新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急的な補正予算を可決しました。

◆令和2年第3回高松市議会定例会が6月10日から25日まで開かれました。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、生活困窮者自立支援事業の相談窓口体制の拡充や住居確保給付金事業費の増額、学校給食休止にかかる補助や国のGIGAスクール構想実現に向けて市立小中学校の児童生徒に1人1台端末の整備等、令和2年度高松市一般会計補正予算のほか、41議案を可決しました。

◆令和2年第4回高松市議会臨時会が、7月20・21日の2日間の日程で開かれました。

新型コロナウイルス感染症対策として、市立の保育園・幼稚園等への網戸の設置、小中学校の水栓（蛇口）をレバーハンドルに交換等、国の特別定額給付金の対象とならない令和2年4月28日以降に出産または妊娠中の方へ出産応援特別給付金、経済対策事業として市内の対象店舗でスマートフォンを利用したキャッシュレス決済に対するポイント還元等、令和2年度高松市一般会計補正予算（第5号）を可決しました。

◆令和2年第5回高松市議会定例会が9月7日から24日まで開かれました。

男木島・女木島地区の情報格差解消のため超高速情報通信網整備、65歳以上や中学卒業までの人等へのインフルエンザ等の予防接種費用の助成、経済対策として市内企業のIT導入経費への補助等、

高松市動物一時保管施設（仮称）の整備、高松競輪開催業務の民間委託費等、令和2年度一般会計補正予算など議案23件、人事案件10件を可決及び同意したほか、各会計決算の3議案が継続審査となりました。

所属委員会

令和2年第2回臨時議会にて、下記の委員会に所属となりました。

《教育民生常任委員会》

国保・介護・福祉・子育て・保健所・病院・教育などを所管する常任委員会です。

令和2年度の所管事務調査のテーマは「高齢者福祉の推進について」となりました。

主に令和2年度までの第7期高松市高齢者保健福祉計画の進捗確認ならびに次期計画策定にかかる調査や骨子のとりまとめに向けて議論を深めてまいります。

《観光エリア・附属医療施設整備特別委員会》

屋島及び塩江地域の観光振興の他、附属医療施設の建設整備について調査研究する特別委員会です。

令和2年度では、屋島山上交流拠点施設整備や塩江道の駅エリア整備基本計画についてチェックを行ってまいります。



屋島山上交流拠点施設計画図

新型コロナウイルス感染症拡大への対応

◆生活再建に向けた支援策について

- ・特別定額給付金（国）
- ・生活福祉資金の特例貸付（県・市）
- ・住居確保給付金（市）
- ・インフルエンザ予防接種費補助事業（市）
- ・出産応援特別給付金（市）
- ・新型コロナウイルス感染症対応休業支援金（国）



今回の新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染予防の観点から人の動きが止まり、また感染拡大期には営業自粛要請が出される中、特に観光業や飲食業への影響は甚大でした。

自宅待機を指示され休業中の賃金がもらえない従業員の方、学校の休校等により休業を余儀なくされた子育て世帯、イベント等の中止により発注が止まった各種請負業の方、そして収入が減ったことにより今まで通り住居の家賃が払えなくなり、そこへ住み続けられなくなった方等、特に4月～5月には多くの皆様が当事務所にご相談に来られました。

適切な支援策をご紹介したり、市担当部局や関係機関等につなぐなど、精一杯応じてまいりましたが、制度上の課題も多く見受けられ、今後に生かしていかなければなりません。

◆経済や事業所再建に向けた支援策について

- ・持続化給付金（国・県）
- ・雇用調整助成金（国）
- ・香川県新型コロナウイルス感染症対応資金（県）
- ・家賃支援給付金（国・県）
- ・高松市テナント家賃給付金（市）
- ・前向きに頑張る事業者を応援する総合補助金（県）
- ・IT補助金（国）
- ・高松市中小企業等デジタルシフト事業補助金（市）
- ・うどん県泊まってかがわ割（県）
- ・商都たかまつ！消費拡大キャンペーン（市）
- ・GOTOキャンペーン（国）



特に経済対策に関しての事業主の方からのご相談は多く、支援策が発表される都度、迅速な情報発信に努めてまいりました。

コロナの影響を受け、営業活動が難しくなった事業所に関しては、通常時に用意する運転資金では長引く休業期間中に自宅待機する従業員への賃金を充分支払えず、国の雇用調整助成金を申請しようにも制度設計や書類の煩雑さから未申請のままとなっている事業所も多く、また支援にも給付金、助成金、資金（融資）があり、国のものや県に市と申請先も問い合わせ先も違うため、ご相談に来られる事業主の方からもご不満を多くお聞きしました。

さらにコロナ対策での新しい取組に対する補助金を活用し、感染症予防対策となる衛生備品や設備が整えられる事業所との対策格差もみられはじめ、経済支援を行う産業政策面での基礎自治体としての行政窓口が、市内事業所から満足感を得られていない現状も早急に課題とともにまとめて提示したいと思います。

◆イベントの開催について

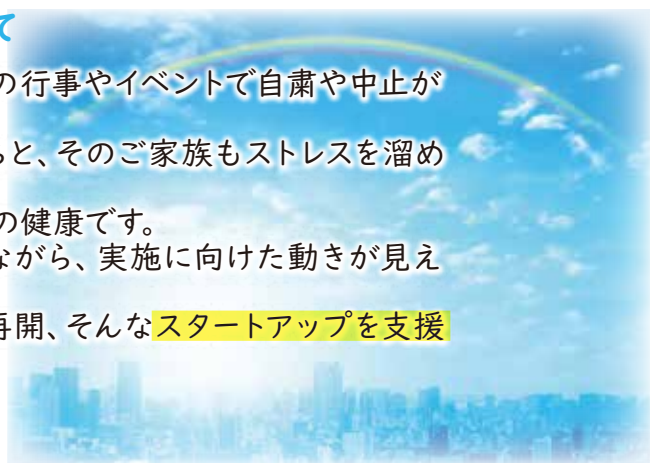
高松まつりをはじめ、多くの行事やイベントで自粛や中止が相次ぎました。

自宅待機となる子どもたちと、そのご家族もストレスを溜められたことでしょう。

大切なのは何よりも皆さんの健康です。

そんな中でも対策を講じながら、実施に向けた動きが見え始めてきました。

休んでいた子ども食堂も再開、そんなスタートアップを支援していかなければなりません。



買い物難民対策

所属する教育民生常任委員会の今年の所管テーマは「高齢者福祉」。そこで、高松市社会福祉協議会が庵治地区で実施する高齢者買い物移動支援事業を視察してきました。

少子高齢化&高齢者のみの世帯の増加、加えて免許返納もあり、生活に必要な移動・外出が困難な高齢者が増えてきています。

また高齢者の体力的にも駅やバス停まで歩行できる距離にも限界があります。

そこできめ細やかな地域の移動・外出を支える

交通手段が必要となるのですが、コミュニティバスやタクシーといった公共交通に加えて、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、移動支援事業を実施するネットワークづくりを推進していきたいと思います。

高齢者の皆さんの笑顔のために！



殺処分ゼロへの取り組み



※ご近所さん宅で保護された野良猫
無事に里親さんに引き取られました。



※女木地区の猫たち

環境省が発表した2018年度「犬・猫の引き取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況」では、犬での香川県の引き取り数は2027頭。殺処分数1166頭、ともに多さでは全国ワースト1位でした。

しかし犬の登録頭数はそれほど多くはなく、香川県は7万1384頭（全国28位）でした。

飼育犬などが少ないわりに、野犬が多いようです。

私は昨年9月議会では「犬や猫の殺処分減少に向けた取り組みについて」、昨年12月議会では「飼い主のいない猫を増やさないための対策について」と関連し、連続して質問に立ちました。

今年の9月議会では、保護された犬・猫の一時保管施設の建設に向けての予算が計上され、飼い主への返還や譲渡への時間を延ばすことが期待できますが、まだまだ野良で繁殖する頭数には追い付かないと思われます。

特に市街部等では、最近野良猫が多くみられ、餌だけを与える方と糞尿で迷惑を受ける住民との意見の食い違いも生じており、特に野良猫に関しては行政も捕獲には応じておらず、野良で繁殖を繰り返す事態が続けば、殺処分数は…。

視察した女木地区などでは、猫の全頭避妊・去勢を施した上で生きている間は餌やりなどを行いながら、地域で見守る取り組みが行われています。

引き続き、譲渡に加えて野犬や野良猫を増やさないための対策の必要性を訴えてまいります。

インターンシップ受け入れ

高松市議会自民党議員会では、香川大学の学生インターンシップを受け入れました。

私は、地域コミュニティ協議会と自治会加入率の現状、雨水や河川の氾濫に備えた防災についての説明を行いました。

学生たちは、特に高松市では自治会への加入率が低い現実について関心が高いようで、熱心な議論が行われました。

学生たちからの提案としては、若い人たちやマンションの住民も参加したくなるような地域イベントで、世代を超えた交流の輪を広げるよう意見を頂きました。



※この市政活動レポートは、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。